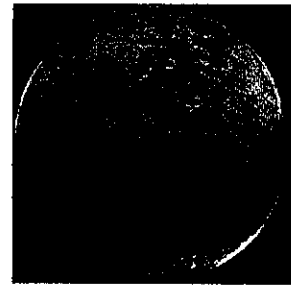


バルーンようか観望会のご案内

今回のテーマは「大接近！！の“火星”を見よう」

火星は、2年2カ月ごとに地球に接近します。今年は接近する年で、5月31日に最も接近します。地球に近づいたときには、赤く輝いて見えます。

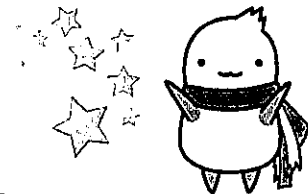
- 日 時 平成28年5月28日(土)・6月4日(土) 20:00~21:30
※両日でも1日のみでも参加できます。
※雨天・曇天の場合は中止いたします。曇天の場合は事務局にお問合せください。
- 場 所 養父市立天文館バルーンようか
- 内 容 天体望遠鏡を使って火星を観察します。
- 参加費 小・中学生50円、一般100円
- 申込み 当日受付
- 主 催 養父市立天文館バルーンようか・オペレータークラブ



※ご来場の方に、天文の『やっぷー缶バッチ』をプレゼントします。
この機会にぜひ、ご家族でお越し下さい。多数のご参加をお待ちしています。



【ご注意】 バルーンようか周辺は、天体観測に適した環境作りとして外灯がありません。駐車場から天文館までは急な坂道を登りますので、懐中電灯等をご持参の上ご来場ください。



☆今後の「観望会」予定☆

日 程	時 間	内 容
6月25日(土)	20:00~	「土星の“輪っか”を見よう」
7月 2日(土)		
7月31日(日)	14:00~	「夏休み工作教室と天文館見学」

◎多数のご参加をお待ちしています。

<お問い合わせ> 養父市立全天候運動場(バルーンようか事務局)まで
TEL 663-2021

【星空速報】

5月31日は「スーパーマーズ」火星が地球に大接近！

19時30分以降に南東の空を見上げよう / 肉眼で真っ赤に輝く火星を確認できるぞ!!

突然だが皆さん！ 最近、夜空を見上げているだろうか？ 空を見ている人なら気がついているかもしれない。なんだか、見慣れない赤い星があるなあと。日に日に異常な明るさを発揮し、赤さがどんどん際立ってくる。なんだか悪いことの前触れ!?

いや、それは違う。火星は今地球に最も近い位置にある。日本時間で2016年5月31日に最接近し最大となる「スーパーマーズ」と呼ばれる現象が起きているのである。

・ただいま火星が地球に接近

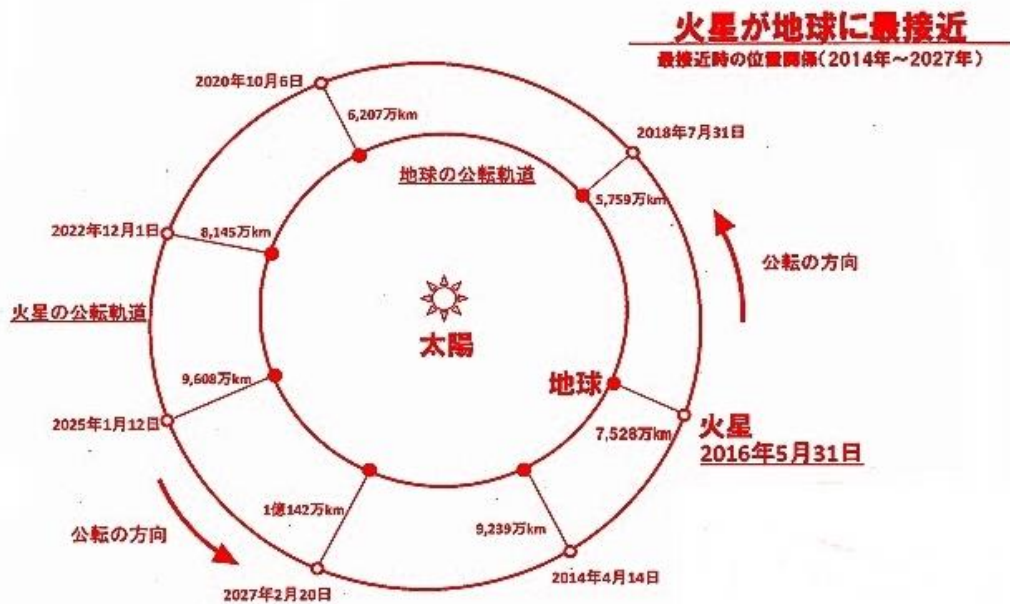


[撮影者 飯田 浩規(バルーン八鹿オペレーター)撮影日2016. 5. 28 天文館20cm 屈折望遠鏡]

地球のひとつ外側の惑星・火星。そんな火星が、ただいま地球に最接近!! 2016年5月31日に、約2年ぶりに地球に最接近する「スーパーマーズ」の日を迎えている。月が地球に最接近する「[スーパームーン](#)」の火星版である。

・火星が地球に近づく理由

惑星って、太陽を中心に回っているんじゃないの？ どうして火星が地球に近づくの？ 詳しい方ならご存知のことだろう。実は、惑星の軌道は正円ではない。国立天文台によると、地球が正円に近い軌道を持つのに対し、火星はつぶれた楕円状とのこと。そのため、一定の間隔で地球に近づいたり、遠のいたりしているようだ。最接近の周期は2年2カ月とのことである。



・観測のポイントは特になし！ 肉眼でも確認できる

なるほど、そういうことだったのか！ 久々の地球と火星のランデブーだ。ぜひともこの目で見てみたいもの。でも望遠鏡とか必要なのかな？ 私も長らく「惑星を見るのは難しそう」というイメージを持っていたが、実はそんなことはない。火星は、もう見えている！

・19時30分以降に南の空を見上げてみよう

最接近するのは5月31日だが、この日を挟んでしばらくは見え方にそう変わりはないそう。しかも、火星は“マイナス2等級”と日々見ている星座の星より数段明るい。そして赤い。空が暗くなってから、南東の方を見上げてみよう。ルビーのように強烈に輝く星があれば、それが火星だ。

19:30 以降には空は真っ暗になっているはず。その頃なら、火星を確認できるはずである。

平成28年6月
天文館バルーンようか